



7月22日に行われた群馬県知事選挙開票の様子



7月29日に行われた参議院議員通常選挙の投票の様子（第7投票所）

群馬県知事選挙・参議院議員通常選挙

県知事選が7/22に、参院選
が7/29に実施される

県知事選ではおよそ16%、参院選ではおよそ2%前回の投票率を上回る

任期満了に伴う群馬県知事選挙が7月22日、また参議院議員通常選挙が29日に、それぞれ実施され、即日開票が行われました。

今回の選挙は、国会の会期延長に伴い、当初7月22日同日に予定していた県知事選と参院選が、参院選について一週間ずれたものです。

7月22日に行われた知事選では、有権者数6,313人のうち、3,895人が投票（期日前・不在者投票含む）し、全体の投票率はおおよそ

63%。前回の知事選（平成15年7月6日実施）と比べ、16%上回る投票率増となりました。

また、29日に行われた参院選でも有権者数6,361人のうち3,853人が投票。投票率はおおよそ61%で、前回（平成16年7月11日実施）と比べ約2%の投票率増となりました。

なお、群馬県知事選挙と参議院議員通常選挙の各投票所（対象地区）別の投票率は左に示す表のとおりです。

開票作業

どんな事をしているの？

投票の終了した投票箱は各投票所で施錠され、開票所（役場）に集められます。開票には、役場職員が開票作業を行う他、開票管理者や開票立会人、警察官が開票に立ち会います。

昭和村では、午後9時に開票を始め、知事選では概ね45分で開票が終了しました。

開票の流れ

①施錠の確認



開票管理者の開票宣言の後、投票箱の施錠の確認し鍵を外します。

②投票箱の確認



投票用紙を出した投票箱は、開票管理者、開票立会人が空である確認をします。

選挙の疑問

Q 期日前投票とは
どんな制度ですか？

A 期日前投票とは、投票当日に仕事や地域の行事、旅行や冠婚葬祭等で、投票所に行くことのできない人が、事前に投票を行うことができる、平成15年度より設けられた制度です。

手続きが簡素で、投票がスムーズに行えます。

Q 期日前投票をするには
どうしたらいいの？

A 期日前投票所（村では役場に設置）にお越しいただき、『投票用紙等請求書兼宣誓書』に住所・氏名・生年月日・当日投票に行けない理由（選択式）を書いていただきます。

その後は、投票日当日に行なう投票とおなじ流れで投票を行なうことができます。

なお、期日前投票は、告示（公示）のあつた日の翌日から、投票日の前日までの期間、時間は午前8時30分から午後8時まで投票を行うことができます。

投票所（対象地区）別投票率

投票所	対象地区	群馬県知事選挙(平成19年7月22日実施)			参議院議員通常選挙(平成19年7月29日実施)		
		有権者数	投票率	前回投票率	有権者数	投票率	前回投票率
第1投票所	川額(藤井・宮貝戸・根岸・伏田)、鎌沢、森下上・中・下、入沢、三ツ谷、椽久保北部・南部	2,008人	62.70%	44.79%	2,025人	59.95%	58.63%
第2投票所	入原	382人	68.59%	66.11%	388人	68.04%	76.34%
第3投票所	永井下・上	281人	70.11%	55.83%	286人	63.29%	62.76%
第4投票所	赤城原第一・第二 松ノ木平第一・第二	511人	67.12%	46.31%	516人	66.28%	57.89%
第5投票所	吹張、宿、中宿、中内出、常木、滝寺、南内出、上内出	1,263人	63.10%	44.44%	1,270人	61.18%	59.56%
第6投票所	田岸、大堀 滝久保、池原	620人	70.48%	53.86%	624人	67.15%	63.82%
第7投票所	中野下・上、長者久保、大河原、追分、赤谷	1,056人	50.95%	34.06%	1,059人	48.73%	45.61%
第8投票所	生越	192人	79.17%	68.27%	193人	72.54%	76.92%
全体		6,313人	63.12%	46.45%	6,361人	60.57%	58.83%

※参院選は国内投票のみ

③開披（かいひ）



投票用紙を候補者・政党ごとに分けます。判別について疑問のある場合には審査係が審査します。



④点検

投票用紙の記入枠外に記載がないかなど表裏を確認します。



⑤審査

疑問票について、有効か無効か審査します。

⑥票の計数と括束



候補者・政党ごとに計数器で票数を数え、束ねます。

⑦票の確認



開票管理者、開票立会人が票を確認。有効・無効の判定をします。

⑧計算



各候補者・政党ごとの得票数を集計します。